



## 障がいがあってもなくても楽しく

**カ** ローリング講習会が7月14日(金)に旧最北高等技術専門学校体育館で開催され、約30名の方がプレーを楽しみました。講習会は町身体障がい者福祉会(長瀬敏雄会長)が初めて開いたもので、障がいのある方13名のほか老人クラブの会員なども参加し、県障害者スポーツ指導者協議会の指導員の指導を受けながらカローリングを楽しみました。

カローリングは車輪のついた円盤を約10メートル先の的に向かって順番に滑らせ得点を競い合うもので、障がい者のプレーにも配慮されたルールとなっていて、障がいのある人もない人も一緒に楽しむことができるスポーツ。参加者からは一投ごとに歓声が上がリ、スポーツを通じた交流も楽しんでいました。

## 3つのそばを食べ比べ

**お** くのほそ道最上川そば三街道「そばの里まつり」が7月8日(土)にクロスカルチャープラザ桂桜会館で開催されました。これは大石田町、尾花沢市、村山市のそば三街道協議会が毎年開催しているもので、大石田町の「来迎寺在来」、尾花沢市の「最上早生」、村山市の「でわかおり」、それぞれの自慢のそばを一度に味わうことができるイベント。県内外から900人を超える方が訪れて、1つの器に盛られた食感や香りの違う3つのそばを食べ比べていました。また、会場には大石田そば街道振興会が今秋の発売を予定している「そばコーヒー」の試飲コーナーや、漬物などの特産品も並び、そば打ちの実演も行われて、多くの方が足を止めていました。



## プールで夏を楽しく

**大** 石田保育園のプール開きが7月11日(火)に行われました。待ちに待ったプールの日、この日も朝から気温がぐんぐん上がり、プールサイドでは午前中からすでに30度を超える猛暑。はじめに、園児らは安全に楽しく遊べるように神事を行ってからプールに入りました。この日を楽しみにしていた子どもたちは、プールに入るとお互いに水をかけ合ったり、バシャバシャと水をはね上げながら走り回ったりして心地よい水の感触を全身で楽しんでいました。園児の一人は「ちょっとぬるくて気持ちいいです」と話していました。



## みんなで登ろう大高根山

**や** まがた百名山に選定された大石田町で一番高い山「大高根山(標高542.9メートル)」に登る町民登山が7月2日(日)に行われ、参加した約30人が山頂を目指してさわやかな汗を流しました。この町民登山は登山道を整備している「大高根山の会(遠藤廣吉代表)」が企画して毎年行われています。参加者は会のメンバーにより木の枝や下草が刈り払われた登山道を快調に進み、途中何度か休憩しながら、およそ1時間で山頂に到着しました。この日はあいにくの曇り空でしたが、参加者らは心地よい汗をぬぐいながら、町内が一望できる山頂からの景色を楽しんでいました。



## 上生菓子作りに挑戦

**ウ** ロコヤ総本店で(尾花沢市)7月8日(土)に「わくわくお菓子教室」が開催され、町内の小学生約20名が上生菓子作りに挑戦しました。お菓子教室は大石田町総合体験活動事業の一環として行われたもので、はじめにお店の菓子職人が作り方を実演したあと、子どもたちは白あんに求肥と山芋を入れて練り上げた練りきり餡を平たく伸ばしたり、こねて丸めたりしてミッキーやミニ、みかんなどをかたどった色鮮やかな上生菓子を作りました。参加した児童の一人は「おいしいそうなお菓子が出来たので、おばあちゃんに食べてもらいたいです」と話していました。



## 衝突実験で事故の怖さ学ぶ

**か** もしかクラブが7月12日(水)から18日(火)にかけて町内3つの保育園で行われました。今回はダミー人形「とびたくん」を使った衝突実験で交通事故を再現し、園児に事故の怖さを学んでもらい、交通ルールを再確認しました。自動車がクラクションを鳴らしながら猛スピードで人形に向かってくると園児らは顔をゆがめ、衝突の瞬間には急ブレーキの音に思わず耳や目をおおったり、泣き出す子もいて事故の怖さを体感していました。衝突実験のあと、園児らは道路に飛び出さないことなど交通ルールを再確認していました。

